

全国市民 アクション ニュース

No : 13

2019年6月13日

〒101-0064

東京都千代田区神田猿樂町 1-2-3
錦華堂ビル4A

■電話 03-5280-7157

■FAX 03-5280-7158

■Mail : info@kaikenno.com

発行：安倍9条改憲NO！
全国市民アクション

安倍9条改憲NO！3000万署名
東京・新宿で6・2大街頭宣伝行動を実施
憲法変えるな！政治を変えよう！



「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」は「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」との共催により、6月2日、東京・新宿西口で、「安倍9条改憲NO！3000万全国署名総がかり大街頭宣伝行動」を実施し、130名が参加、約1時間余りで201筆の「安倍9条改憲NO！」の署名が集まりました。この日の大街頭は、右翼の計画的な干渉・妨害行動がありながらも、新宿西口付近の三カ所でリレートーク・各代表のスピーチ等が行われ、新宿駅頭を通行する人々に「安倍総理による憲法9条改憲阻止！」「3000万人全国署名への協力を！」と訴えました。

辺野古新基地建設を断念せよ！ 5・25国会包囲行動に5000人！ 参院選勝利で安倍政権を退陣へ追い込もう！



5月25日、戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会は、国会周辺で、基地の県内建設に反対する県民会議、「止めよう!! 辺野古埋め立て」国会包囲実行委員会との共催で、「止めよう！一辺野古新基地建設・9条改憲・安倍政権の暴走を！一国会包囲行動」を開催、猛暑の中5000人が参加しました。また、この日の行動は全国32の都道府県、38地域で開催される全国総行動として実施されました。

全国32の都道府県38地域で辺野古NO!の声

集会は、主催者を代表して野平晋作さん(国会包囲実行委員会)があいさつし、「2月の県民投票で、新基地建設反対の沖縄県民の意思が明確に示された。ボールは本土の側に投げられている。本土のたたかいが問われている。沖縄の民意が尊重されないなら、日本に民主主義はないことになる。沖縄に過剰に押し付けられている米軍基地問題を解決することで、日本に本当の平和と民主主義を実現しよう」と訴えました。



作家の落合恵子さんは「新基地反対の沖縄県民の確かな意思が表明されながらも、今の政権は少しも耳を傾けず、誠意も示していない。こんな暴挙を許すことは、この国の民主主義を破壊し破滅させる道でしかない。もう一度声を大にして語っていこう。」と呼びかけました。

沖縄から駆けつけた安次富浩さん(ヘリ基地反対協)は「私たちは『勝つこととは、あきらめないことだ』を合言葉にして、座り込みや、抗議行動を展開している。衆参の同日選の情報が流れているが、堂々とたたかって、安倍政権を打倒しよう。この国を変えるのは私たち主催者だ。一致団結して本当の民主主義の国を作ろう!」と呼びかけました。



政党からは、石橋通宏参院議員(立憲民主党)、森ゆう子参院議員(国民民主党)、小池晃参院議員(日本共産党)、福島瑞穂参院議員(社会民主党)が駆けつけ、それぞれ、辺野古新基地建設の強行に反対し、安倍政権の退陣を求めて共に闘う決意を述べました。



内山さと子武蔵野市議会議員は、武蔵野市議会が政府に対し沖縄の県民投票の結果を尊重することを求める意見書を採択したことを報告し「小平市でも小金井市でも意見書が採択された。沖縄だけでなく本土の私たちが声をあげ行動することが今、求められている。沖縄との連帯を今度こそしっかりと示して、安倍政権の退陣を求めていこう。」と訴えました。



藤本泰成さん(総がかり行動実行委員会)は、学者・弁護士・文化人らによる公開ヒアリングを防衛省と行った報告を行いながら「私たちの13項目の公開質問に関して、防衛省は一切まともな回答ができませんでした。沖縄の現実がいかに理不尽で、憲法が規定する平和主義と民主主義・基本的人権をいかにないがしろにしているかは明らかだ。沖縄と連帯し大きな声をあげていこう!」と呼びかけました。



最後に高田健さん(総がかり行動実行委員会)が閉会の挨拶に立ち、「今国会での改憲発議はほぼできなくなった。安倍総理の次の手は参院選で3分の2を確保することだ。しかし、それを阻止すれば安倍総理の9条改憲の夢は破れ、彼は引責辞任せざるを得ない。参院選に勝利して、安倍政権を崩壊に追い込もう!」と訴えました。



その後、集会は2部として議員会館前(平和フォーラム)、国会図書館前(共同センター)、国会正門前(市民団体)の三カ所で集会が開催されました。